

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 総務課		重点項目	産業経済局の運営						
	課長名	宮崎 彰三		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	2,519,494 千円	人件費	目安の金額	課長
令和2年度当初予算額(B)			2,460,313 千円			係長	2		人	
増減額(A-B)			59,181 千円			職員	5		人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				職員給	産業経済局の職員給	—	2,114,742	2,124,377	9,635
2				産業振興一般事務(総務課)	一般事務費	—	37,069	39,214	2,145
3				繰出金	一般会計から特別会計(卸売市場、渡船、土地取得)への繰出金	—	308,502	355,903	47,401

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 緊急経済対策室		重点項目	新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、本市経済の活性化を図っていく。 ・市内中小企業のデジタル化等を強気に推進する。 ・金融機関と連携しM&A支援を行い、地域経済の発展につなげる。			
	課長名	黒岩 亮		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	160,178 千円
						令和2年度当初予算額(B)	97,819 千円
						増減額(A-B)	62,359 千円
				人件費	目安の金額	課長 1 人 係長 2 人 職員 2 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				円滑な事業承継のためのM&Aモデル事業	円滑な事業承継による地域経済発展のため、金融機関との連携によるM&Aの支援を行う。	日常的に企業訪問を行っている行政が売り手情報を掘り起こし、金融機関と連携して買い手ニーズとマッチングを行う。	5,000	5,000	0
2	○	○		<新>中小企業のDX推進支援事業	デジタル化やデータ活用等を提案できるベンダー企業と活用を検討する市内ユーザー企業をつなぐプラットフォームを運営する。その中で、サポートセンターを中心とした伴走支援を行うとともに、システム導入経費や人材育成経費など各種取組経費の補助を行うことにより、市内中小企業のデジタル化等を強気に推進する。	令和2年度から実施している「デジタル化サポート事業(テレワークサポート事業)」を本市のDX推進に資する事業として発展させる。これまで培ってきたノウハウの活用、人的ネットワークの拡充により、大きな変革を起こす契機としていく。		70,000	70,000
3			○	未来の株式上場企業育成事業	新規株式上場(IPO)が見込まれる中小企業を認定し、支援する。	—	4,000		-4,000
4				商工貿易会館改修事業	商工貿易会館に係る改修補修	老朽化している外壁及び屋根の改修工事の実施設計を行う。	8,500	5,200	-3,300
5				商工貿易会館運営(指定管理者管理業務)	商工貿易会館に係る指定管理業務	—	73,099	73,099	0
6	○		○	新成長戦略推進事業	新成長戦略の推進を図るため、市内企業の動向調査や、新成長戦略推進懇話会(有識者会議)を運営する。	産業振興一般事務(緊急経済対策室)と統合	4,873		-4,873
7				産業振興一般事務(緊急経済対策室)	緊急経済対策室における一般事務経費	—	2,347	6,879	4,532

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 雇用政策課		重点項目 新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の変化に対応した支援を強化するとともに、市外から新たな働き手を呼び込むことで、本市経済の活性化を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により再就職にチャレンジする求職者等への支援強化 ・ポストコロナを見据えた新規卒者等の市内就職支援 ・新型コロナウイルス感染症の影響を契機とした東京一極是正の機運をチャンスと捉え、市内企業への就職希望者への支援強化 ・高齢者や外国人等の人材を活かすための支援										
	課長名	小田 聡		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	368,977 千円	人件費	目安の金額		課長	2	人
						令和2年度当初予算額(B)	341,102 千円		係長	6	人		
						増減額(A-B)	27,875 千円		職員	10	人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			○	市内企業の採用力強化支援事業	企業の採用課題に対してアプローチを行い、市内企業の採用力を強化することで、新規卒者の地元就職につなげるもの。	—	8,000		-8,000
2	○			コロナ禍における新卒者地元就職強化事業	学生の就職支援と市内企業の採用支援を目的に、WEBを活用した会社説明会や業界研究会、学生と企業との交流会等を開催するとともに、未内定学生への個別丁寧な支援を行うことで、市内就職を促進する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、就職活動や企業の人材確保については、WEB化が急速に進んできたことを受け、企業の採用支援と学生等の就職支援をWEBを活用して行うもの。		14,000	14,000
3	○			コロナ禍における早期再就職・正規就職支援事業	市内就業支援施設の就業相談カウンセラーや就職マッチング支援員を増員し、失業者の再就職や就職氷河期世代の正社員就職を支援する。また、早期の就職に繋げるため、人手不足業種へチャレンジする求職者には、短期の資格取得支援等を実施する。	早期の再就職・正規就職を支援するために、製造、建設、介護等の人手不足業種へチャレンジする求職者について、短期の資格取得や職場体験等を実施するなど、さらに踏み込んだ支援を行う。		37,000	37,000
4			○	外国人材就業サポートセンター運営事業	市内企業の人材不足が深刻化する中、今後増えていくことが予想される外国人材の採用について、あらゆる在留資格に応じた外国人材の就業を一元的にサポートする「外国人材就業サポートセンター」を設置することで、市内企業の外国人材の活用促進を図る。	海外大学生市内中小企業就職促進事業と統合し、「外国人材就業サポート事業」に再編			0
5	○			外国人材就業サポート事業	外国人材就業サポートセンター運営事業や海外の連携大学等との交流事業の実施により、市内企業への就職を目指す留学生や海外大学生等の受け入れを支援する。	令和3年度は、「外国人材就業サポートセンター運営事業」と、「海外大学生市内中小企業就職促進事業」を統合し、事業効率化を図るとともに、留学生等の市内企業への就職促進を重点的に支援するよう、専門相談やサポートプログラム参加企業と留学生とのマッチングを推進する。	14,370	13,939	-431
6			○	就職氷河期世代就業支援事業	就職氷河期世代を対象として、国が実施する3年間の集中支援プログラムの効果を最大化するために、同世代に必要な支援が届くための積極的なアプローチや企業向けのセミナー、短期の資格取得支援などを実施する。	—	4,000		-4,000
7	○			シニアの働きやすいお仕事開拓事業	シニア層が働きやすい多様な求人を開拓し、雇用のミスマッチを解消することで、高齢者の就業率向上を図る。	シニアのニーズにあった短時間勤務や軽易作業の切り出しなどを企業に提案するとともに、令和3年度は、人手不足の業種も視野に入れた開拓を行っていく。	4,638	4,632	-6

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8	○			九州・山口一円の学生就職応援プロジェクト	九州・山口一円の大学・高専・工業高校等と連携し、本市での就職や暮らしに関する情報を発信するとともに、市内企業やまちの魅力を体感する機会を創出し、市内就職や市内還流を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、バスツアーからオンラインでの企業PR等に手法を変えること等、手法の見直しを図る。	6,000	4,000	-2,000
9		○		人生100年これから働くシニア発掘事業	就労にあと一歩踏み出せない高齢者の掘り起こしを行うことで、市内企業の人材不足解消を図るとともに健康寿命延伸に寄与していく。	新型コロナウイルス感染症の状況確認や感染防止対策を講じながら、効果的な就労イベントにするため、開催会場やPR方法などを随時見直し、シニア層へのアプローチを強化していく。	4,000		-4,000
10	○			民間転職サイト活用U・Iターン促進事業	社会動態プラスに向けて、民間転職サイトや転職フェア等、転職希望者が集まる媒体を活用し、市内企業の求人情報や転職支援情報をPRすることで、U・Iターン就職を推進するとともに、市内転職希望者の市外流出を抑制する。	新型コロナウイルス感染症拡大を機に、地方移住希望者が増加したことや、急変した就活様式に対応した取組みが必要であるため、転職に向けたアクションを起こしている層を新規登録者として積極的に獲得するとともに、市内企業のWEBを活用した人材採用を支援することで、市内転職者の増加を図る。	11,000	12,000	1,000
11	○			北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト	本市へのU・Iターン就職希望者に対する地元企業の求人情報の提供や転職相談、職業紹介等の支援を総合的に実施する。また、若年人材等の地元への還流を促進するため、学生等に対するU・Iターン就職活動支援の拡充を図る。	3年間で1,000人の就職者数の目標に向け、着実に実績を重ねてきた。令和3年度に向けて、就職から移住までワンストップで相談できるよう、業務内容を拡充するとともに、人材ニーズの開拓や採用提案を行うなど、伴走支援を強化する。	6,789	5,519	-1,270
12	○			北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト(債務負担)			16,000	18,000	2,000
13	○			インターンシップ等推進事業	市内就職を希望する学生と企業とのマッチングを体系的に推進することで、若者の地元就職及び地元企業の人材確保につなげる。	地元就職促進のため引き続きインターンシップに注力するほか、コロナ禍での停滞を防ぐため、参加企業に対しオンライン実施を働きかけていく。	10,000	10,000	0
14				北九州ゆめみらいワーク事業	小・中学生、高校生や大学生等を対象に、地元企業の仕事内容や地元大学の研究等について、直接聞き、体験できるイベントを開催し、企業や大学の魅力等を伝えることで、職業観を醸成し、各自に合った職業選択につなげる。	イベント内容や広報の実施方法のさらなる見直しなどの経費節減を行い、同規模のイベントを実施する。	30,000	29,000	-1,000
15	○			セカンドキャリア支援プロジェクト	地方創生求人支援員が、U・Iターン希望者を対象として市内企業を訪問し、潜在的ニーズを発掘するなど機能を強化する。	シニア層の経験や能力を踏まえた、丁寧な人材ニーズの発掘や人材採用提案が、好調な成果につながっていることを踏まえ、全世代に拡充して企業に対して採用提案等を行うことで、全国の優秀な若年層や経験豊富なシニア層の希望条件にマッチした人材ニーズを発掘し、U・Iターン就職増加に繋げていく。	12,680	7,000	-5,680
16	○			若者ワークプラザ北九州運営事業	若年者の就業支援の拠点として「若者ワークプラザ北九州」及び「若者ワークプラザ北九州・黒崎」において、就業相談、セミナー、職業紹介等を実施し、若年者の就業を促進する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による雇用情勢の悪化を踏まえ、より丁寧なカウンセリング対応や、新たな就活様式に対応したセミナーを行うなど、状況の変化に応じてスピード感のある支援を行っていく。	1,227	1,190	-37
17	○			若者ワークプラザ北九州運営事業(債務負担)			62,500	62,500	0
18				若者ワークプラザ北九州求人求職者情報システム運用保守事業	若者ワークプラザ北九州で使用する情報システムの運用保守を行う。		1,645	1,645	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
19				シルバー人材センター運営補助	働く意欲のある高齢者に就業の機会を提供することを目的とした(公社)シルバー人材センターの運営補助を実施する。	—	47,500	47,500	0
20				KIPRO賃借料(若者ワークプラザ、U・Iターンオフィス)	AIMビルに開設している「若者ワークプラザ北九州」および「北九州市U・Iターン応援オフィス」の賃借料(固定経費)	—	11,525	11,525	0
21				若者ワークプラザ(光熱水費等)	「若者ワークプラザ北九州」および「若者ワークプラザ北九州・黒崎」両施設の賃借料以外の固定経費(光熱水費、管理費、清掃費等)	—	5,849	6,192	343
22				若年者正規雇用促進事業	市内企業を訪問して、国・県等が実施している正規雇用につながる助成制度やセミナー等の事業案内、企業における人材確保に関する課題・要望等の聞き取り、相談等に応じる。また、雇用情勢の改善により、人手不足となっている地元企業の人材確保を支援するため、市の就労支援施設に関する情報提供を行う。	—	4,200	3,700	-500
23	○			合同会社説明会等開催事業	地元企業情報の提供・マッチングの機会の創出、地元企業の若年者採用支援を行い、市内外の学生の地元企業への就職と市内定住の促進を図る。	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、合同会社説明会を開催し、引き続き企業と求職者のマッチング機会の創出を図る。	18,967	19,640	673
24	○			高齢者就業支援センター運営業務(債務負担)	高齢者就業支援センターを拠点として、高齢者に対し就業支援を実施する。また、就業に関連するセミナーを実施する。	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、シニア・ハローワーク戸畑等の関連機関と連携して、中高年齢者の就労を支援していく。また、一括委託(高齢者就業支援センター、若者ワークプラザ、ウーマンワークカフェ)の強みを生かし、年齢や性別にかかわらず、切れ目のない支援体制を構築していく。	23,800	23,800	0
25	○			中高年齢者雇用環境づくり事業	高齢者就業支援センターの固定経費(電話料、光熱水費、警備・清掃費等)、福岡県シルバー人材センター連合会、全国シルバー人材センター事業協会への負担金など。		8,064	8,000	-64
26				安心して働ける労働環境づくり事業	安心して働ける労働環境を作るため、労働相談を行うほか、ガイドブックの配布等による広報・啓発を実施する。	—	11,343	10,962	-381
27				労政一般(産業経済局)	一般事務費	—	8,565	9,063	498
28	○			北九州技能伝承推進事業	高度技能者を「北九州マイスター」や「北九州技の達人」に認定するとともに、その技能を継承するための活動を支援する。	北九州ゆめみらいワーク等の他の事業と連携することで、マイスターや技の達人の認知度向上を目指す。併せて、新型コロナウイルス感染症の状況確認や感染防止対策を講じながら、技の達人の認定や技能伝承講座等の開催を行い、引き続き技能伝承活動の推進を図る。	8,440	8,170	-270
29		○		海外大学生市内中小企業就職促進事業	日本での就職を目指す海外の大学生等を対象とした交流会や市内視察ツアー、研修等の受入や、海外の大学向けに本市のPRを行うことで、市内中小企業の高度外国人材確保を支援する。	外国人材就業サポートセンター運営事業と統合し、「外国人材就業サポート事業」に統合			0

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 スタートアップ推進課		重点項目	スタートアップを発掘・育成するための支援体制を強化する。						
	課長名	上野 信成		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	304,063 千円	人件費	目安の金額	課長
令和2年度当初予算額(B)			236,178 千円			79,000 千円	係長		3 人	
					増減額(A-B)	67,885 千円			職員	5 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○	○		<新>スタートアップ SDGsイノベーションライ アル事業	優れた目利き能力を有するベンチャーキャピタルと協調して、事業化から出口まで切れ目のない支援を行うことで、スタートアップの成長を加速させ、市内に魅力ある雇用を創出するもの。	内閣府の「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」の選定を受け、スタートアップの成長加速化に向けた取組みとして、事業化支援・実証支援を実施する。		80,000	80,000
2				スタートアップエコシステ ム推進事業(創業支援)	有望なスタートアップを育成する民間主体の伴走支援プログラム(GAP-K)の実施や、創業支援施設(COMPASS小倉)で開業ワンストップセンターを運営する。	スタートアップの誘致について新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、市外でのイベント開催に係る経費を削減する。	15,000	8,000	-7,000
3				創業機運醸成事業	市内の創業機運醸成に係る各種イベントなどを実施する。	インキュベーション室助成を廃止し、関連する必要費を削減する。	12,279	10,734	-1,545
4				保守部品の供給終了に 伴うAIM防災システム更 新工事	北九州テレワークセンターに防災システム(火災報知設備)を導入し、安全・安心な施設管理を行う。	—	1,053	1,053	0
5	○			北九州テレワークセン ター管理運営事業	北九州テレワークセンターに係る指定管理業務	指定管理者の提案書に基づき、一部経費について削減する。	121,984	119,947	-2,037
6				産業振興一般事務(ス タートアップ推進課)	スタートアップ推進課における一般事務経費	スタートアップ推進課および中小企業振興課の一部を統合し、旅費等一部経費について削減する。	4,081	5,799	1,718
7				北九州輸入促進センター 賃借料	北九州輸入促進センター賃借料・共益費	スタートアップ推進課事務室等の使用面積を一部削減するため、予算を減額する。	11,774	9,351	-2,423
8	○			国際競争力強化支援事 業	海外での販路開拓や委託生産など、国際ビジネスを支援し、地域企業の国際競争力の向上を図る。	国際ビジネス環境の変化や市内企業のニーズを踏まえ、販路開拓の機会の提供やグローバル展開の支援に努める。	13,529	13,048	-481
9				北九州市中小企業海外 展開支援助成金	海外市場調査や見本市出展などに対して一部助成する。	国内市場が縮小する中、市内企業からの海外展開を視野に入れた市場調査や海外見本市出展のニーズが高いことから、引き続き事業を継続する。	3,500	3,500	0
10				国際ビジネス拠点運営事 業	AIMビル内のKTIセンターの機能充実・強化を図る。	北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター(KTIセンター)を継続して運営する。	52,846	52,499	-347

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				公用車リース	車両リース代	—	132	132	0
12		○		<新>財産運用収入(地上権契約)	浅野熱供給センター設置に伴う区分地上権の設定。	歳入事業として予算計上するもの。		0	0

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 中小企業振興課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業振興条例において定められている中小企業の振興を総合的に推進する。</li> <li>・「小規模企業振興基本法」に基づき、小規模企業の支援体制を強化し、持続的発展を支援する。</li> <li>・中小企業の経営力強化及び技術力・販売力の向上を図る。</li> </ul>					
課長名	本島 直樹	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	110,734,568 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
				令和2年度当初予算額(B)	41,483,568 千円			係長	4 人
				増減額(A-B)	69,251,000 千円			職員	7 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				中小・小規模企業総合支援事業	「北九州市中小企業振興条例」を多くの企業や市民等に周知するとともに、中小・小規模企業の実態の把握とフォローアップ、中小企業団体等との意見交換など、条例の趣旨を実現するための事業を実施する。	中小企業振興条例に定められた市の責務を果たすため、中小企業団体や学識経験者等の意見を聞きながら、施策に反映させる。	2,300	2,300	0
2	○			事業承継・M&A促進化事業	事業承継の潜在ニーズの掘り起こしから相談、事業承継計画の策定など具体的な成果の創出までをトータルでサポートすることで、市内中小企業の円滑な事業承継を促進していく。	国は法人版事業承継税制を大幅に改正し、2018年より10年間を事業承継の集中実施期間と位置づけ、円滑な承継と事業の継続を促す様々な施策を講じている。本市においても、国の施策に呼応して、事業承継を実施する企業が見込まれることから、引き続き同規模の施策を実施し、事業承継・M&A促進施策を行っていく。	5,000	5,000	0
3	○			ものづくり中小企業女性等職場環境改善支援事業	人手不足が深刻な中小製造業・建設業において、女性や高齢者の人材確保や定着につなげることを目的に、職場環境の改善に必要な経費の一部を助成する。	企業ニーズを踏まえ、予算額を増額する。 「女性及び高齢者の作業をアシストする機器の設置及び購入など」の高齢者の人材確保・定着に繋がる取組みについても、市内中小企業に広く周知し、制度を利用する団体を増やしていき、市内中小企業の人材確保・定着の支援を進める。	3,014	3,514	500
4		○		ゲンバ男子・ゲンバ女子運営事業	製造業のイメージアップなどを図るため、現場で生き生きと働く若手社員(男女)の姿を紹介する専門サイトの運営を通して、市内中小製造業における深刻な人手不足やものづくり技術の伝承等の課題である若年者の人材確保を支援する。	—	1,000		-1,000
5				中小企業人材確保支援助成金	市内中小企業で構成された団体が独自に取り組む、業界の魅力等を伝える啓発や、職場環境改善のための事業経費の一部助成により、市内中小企業の実質的な経営課題の一つとなっている若者や女性等の人材確保を支援する。	助成事業の成果を広く周知することで、制度を利用する団体を増やしていくとともに、助成金事業を活用した団体の取組みを広報することで、業界の理解やイメージアップに繋げていく。	2,000	1,500	-500



No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
6				中小企業融資損失補償	中小企業融資の返済が不能となった場合に、福岡県信用保証協会の代位弁済により発生する損失の一部を補償するとともに、中小企業が負担する信用保証料の一部を補填することで、市内中小企業の円滑で有利な資金調達を支援する。	新型コロナウイルス感染症関連融資の損失補償、保証料補填の支払いに対応するため令和3年度の予算を増額した。 中小企業融資、開業支援資金融資、新成長戦略みらい資金融資の3事業を中小企業融資に統合した。	295,000	615,000	320,000
7			中小企業融資	市内中小企業者に対し、長期・低利の各種事業資金を融資する制度を運用する。	39,570,000		110,000,000	68,930,000	
8		○	開業支援資金融資	中小企業の新規開業に加え、開業後の事業拡大期の資金調達を支援する。	900,000				
9		○	新成長戦略みらい資金融資	北九州市新成長戦略を支援するため、市の認定等を受けて事業展開する中小企業の資金調達を支援する。	600,000				
10			中小・小規模企業資金調達円滑化支援事業	中小企業の融資相談窓口において、中小企業診断士等の金融相談員を配置し、市や県等の融資制度の中からそれぞれの企業に最適な制度を紹介する。	5,806		5,806	0	
11	○		中小企業技術開発振興助成金	新技術・新製品開発に取組む中小企業に対する研究開発費の助成を行うことにより、中小企業の技術開発力の向上と高付加価値企業への転換を促進する。	企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。	21,986	21,986	0	
12			経営リーダー育成支援事業	戦略的思考力や果敢な行動力を有する経営リーダー、社内変革推進者、高度技術を持つ人材の育成など、企業の経営革新に大きな役割を担う中核人材の創出・育成を図るために、各種専門講座等を実施する。	商工会議所その他支援機関では実施が困難な技術者の育成や中小企業の課題に幅広く対応する中小企業大学校での受講を支援する施策を通じての中小企業の人材育成に寄与していく。	1,400	1,400	0	
13			オンリーワン企業創出事業	北九州発の独創的な技術・製品・サービスを提供する優れた中小企業である「オンリーワン企業」を本市の看板企業として市内外に情報発信・プロモーションを行う。	企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。 これまでのオンリーワン認定企業23社について、広報活動を広く行うことで、若年者の人材確保を支援していく。	3,000	3,000	0	
14	○		ビジネスチャンス拡大支援事業	地元中小企業の受注拡大・販路開拓を支援する。 ①大規模展示会等出展支援 ②中小企業DX促進事業(令和3年度から事業統合) ③巡回指導・マッチングコーディネート ④四都市連携交流事業 ⑤北九州発！新商品創出事業	企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていくとともに、市内中小製造業を主なターゲットとして、デジタルトランスフォーメーション(DX)を切り口に販路拡大支援につながるセミナーや相談会等を実施し、激しいビジネス環境において市内企業の競争力維持・強化を図る。	9,736	16,436	6,700	
15	○		中小企業支援センター特定支援事業	市内中小企業のための窓口相談・専門家派遣・情報提供など、専門的かつ総合的なサービスを提供する。	企業ニーズ等を踏まえ、補助交付額の見直しなど、適切かつ効率的な運営に努めていく。	19,800	18,283	-1,517	
16			中小企業団体体育成支援事業	中小企業支援機関や中小企業団体の事業費の一部を助成することで、中小企業の育成・振興を図る。	補助交付額の見直しなどを含め、適切かつ効率的な運営に努めていく。	11,304	11,304	0	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
17				産業振興一般事務(中小企業振興課)	一般事務費	事務費についても適切かつ効率的な運用を行う。	20,522	22,039	1,517
18				起業家支援工場管理運営事業(公共)	モノづくり産業活性化のため、独創的な技術やアイデアをもつ中小企業を審査を経て、「起業家支援工場」に入居してもらい、成長のための支援を行う。併せて、工場の維持管理も行う。	企業ニーズ等を踏まえ、引き続き効率的な運営に努めていく。	2,000	2,000	0
19		○		中小企業成長加速化モデル事業	優れた経営基盤を有する中小企業を対象に、新たな伴走型の出口マッチング支援を実施することで、事業拡大や売上増などの成長を加速させ、本市経済をリードする中核企業への育成を図ること地域経済全体の発展へつなげていく。	中小企業DX推進事業としてビジネスチャンス拡大支援事業へ事業統合	6,700		-6,700
20		○		給与アップで人手不足解消！労働生産性向上サポート事業	中小企業の喫緊の課題である人手不足を解消するため、従業員の給与アップにつながる事業計画の策定支援や進捗管理、国補助メニューのサポート、中小企業融資の優遇措置、若手社員の資格取得の助成支援など総合的にサポートする。	—	3,000		-3,000
21		○		<新>新型コロナウイルス中小企業経営総合相談事業	総合的な支援メニューの紹介や経営相談に対応できる専門相談員を常駐させた窓口を1か所に集約する。また、支援メニューをデータベース化し、チャットボットを活用した支援システムを構築することで、中小企業者がオンラインで24時間相談を受けられることを可能とする。	国・県・市の融資・助成金などの支援メニューの紹介や経営相談に対応できる窓口(オンライン相談も可)を設置するとともに、中小企業者がオンラインで24時間相談を受けられるチャットボットを活用したウェブシステムの構築を行う。		5,000	5,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 観光課		重点項目	観光事業者の事業継続を支援するとともに反転攻勢へ向けた準備を整える ・OTAを活用した宿泊キャンペーンなど、コロナ感染症の影響で引き続き苦しい経営を強いられる可能性が高い観光事業者への支援を行う。 ・時間が必要なハード整備や先を見据えた計画づくりなどを実施し、本格的な観光復興の時代に備え、準備を進める。							
	課長名	徳永 篤司		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	577,821 千円	人件費	目安の金額	課長	2
				令和2年度当初予算額(B)	722,859 千円		173,000 千円		係長	6	人
				増減額(A-B)	-145,038 千円				職員	12	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			観光案内機能強化事業	小倉駅北口のコンベンション施設等への誘導、駅南口での観光施設や飲食店、商業施設への周遊・滞在時間の延長を促すため、小倉駅南北のペDESTリアンデッキに観光案内板(デジタルサイネージ)を整備する。	R2年度に移転リニューアルした小倉駅の観光案内所、及び駅構内や小倉城付近に整備したデジタルサイネージの機能を補完・強化するもの。整備済みのサイネージと統一感のあるデザインにするなど一体的なイメージづくりを進める。	164,000	15,000	-149,000
2				メディアを活用した北九州観光PR展開事業	「観光地」としての本市の知名度向上を図るため、福岡地方のテレビ情報番組中に、本市観光情報を紹介するレギュラー・コーナーを設ける。	新型コロナウイルスが観光に及ぼす影響が大きい中、地元や近隣への観光(マイクロツーリズム)が注目されるなど、福岡県域の地上波放送による観光PRは効果的である。R2年度に引き続き番組コーナーの放送によりPRを図る。	20,000	14,000	-6,000
3				修学旅行などの団体旅行客誘致促進事業	経済波及効果の高い修学旅行などの宿泊を伴う団体客の誘客を図るため、エージェンツ向けの宿泊助成やセールスツールの制作を行う。	新型コロナ禍で修学旅行の先行を変更(国外→国内、遠距離→近距離)する学校が増えている状況を踏まえ、特に近隣からの集客を図る。	17,000	11,000	-6,000
4	○			インバウンド誘致強化事業	オンライン商談会などのデジタルを活用したプロモーションや受入環境整備に取り組むとともに、外国人観光客の受入再開後は、団体向け宿泊助成や現地旅行社へのセールスを実施し、更なる観光客誘客を図る。	Withコロナ、Afterコロナに対応した外国人観光客誘致策として、オンライン商談会・FAMツアーなどのデジタルを活用したプロモーションを実施する。	55,000	15,000	-40,000
5		○		海外ウェブサイトを活用した戦略的インバウンド誘致事業	観光情報をより効果的に発信するため、訪日外国人の利用頻度の高い海外ウェブサイトやSNSを活用した戦略的インバウンド誘致を実施する。	インバウンド誘致強化事業と統合	7,000		-7,000
6				宿泊税モニタリング調査事業	宿泊税を原資とした観光振興への取組の効果を検証するために必要な調査を実施するとともに、モニタリング組織を設置し、取組の方向性の検討等を行う。		4,000	3,500	-500
7				宿泊施設等改修支援事業	観光客の受入環境整備を充実させるための宿泊施設の洋式化等の施設改修費の支援を行うとともに、観光振興に係る体制強化を図るための支援を行う。		30,000	10,000	-20,000
8				小倉城周辺歴史文化観光磨き上げ事業	小倉城関連の歴史的・文化的資源を掘り起こし、情報発信を行うことでさらなる魅力を市内外に伝える。	「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」の日本遺産認定を契機に、8市・3県と菓子組合等の民間団体で構成する「シュガーロード連絡協議会」と連携し、普及・啓発のためのイベント開催や掲示物等の作成に取り組み、本市の観光資源として磨き上げを図る。	10,000	10,000	0
9				小倉城庭園展示改修事業	開館以来20年が経過し、老朽化が進んでいる小倉城庭園において小笠原文化をより魅力的に発信するために設備や展示物の改修に向けて計画策定を行う。	体験型観光の充実やインバウンド対応に配慮した展示改修を実施する。	3,000	26,000	23,000
10	○			日本新三大夜景都市と産業観光コラボレーション事業	新三大夜景都市の再認定に向けて、名月サミット等、夜景に関する全国的なコンベンションの誘致や夜景イベントを開催し、本市の夜景の魅力のPRを更に強化する。また、工場夜景など特色ある本市の夜景と産業観光施設を組み合わせた新たな周遊ツアーのメニュー開発を行う。	令和3年度は3年に一度の「日本新三大夜景都市」認定の年にあたるため、本市の夜景観光の魅力を全国的にPRし、新三大夜景都市の再認定につなげる。	15,000	15,000	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11			○	ハローキティを活用したインバウンド等誘客事業	「ハローキティ」を活用し、交通局のハローキティバスや行政サービスなどと様々なコラボレーションを展開することで、全市的な観光PR事業を行う。	—	15,000		-15,000
12				血倉山プレミアム夜景創出事業	本市を代表する夜景景勝地である血倉山頂に観光客が赴く契機を創出し、付加価値ある夜景観賞地として観光商品価値の磨き上げを図る。	特定日を「血倉山プレミアム夜景の日」とし、血倉登山鉄道(株)、市内ホテル等と、官民一体となって夜景観賞おもてなし企画を実施する。	12,000	7,500	-4,500
13			○	若戸大橋ライトアップ中央部改修事業	メインケーブルの中央部をライトアップする照明設備を整備する。	—	27,000		-27,000
14			○	血倉山観光施設補強事業	生産中止により修繕困難となったバリアフリー設備の代替工事及び改修の緊急性が高いと指摘を受けている物件の補修工事を行う。	観光施設補強事業に統合	25,000		-25,000
15			○	小倉城続櫓改築整備事業	小倉続櫓の耐震補強やバリアフリー対応に向け基本計画策定や石垣構造調査を行う。	観光施設補強事業に統合	800		-800
16			○	小倉城着見櫓耐震補強事業	耐震診断の結果、耐震性が不十分とされた小倉城着見櫓について、耐震補強基本計画に基づき耐震工事に関する実施設計を作成する。	観光施設補強事業に統合	2,100		-2,100
17				血倉山ケーブルカー運行事業	血倉山ケーブルカー・スロープカーの運行に必要な鉄道設備等の大規模改修やオーバーホール等を実施する。	—	22,000	22,073	73
18			○	観光情報コーナー撤去事業	小倉駅1階に設置していた北九州市観光情報コーナーの撤去・現状回復費用	—	11,000		-11,000
19				公用車リース経費	公用車のリース経費	—	533	72	-461
20				平尾台自然観察センター指定管理事業	平尾台自然観察センターの指定管理料。	—	13,423	13,423	0
21				小倉城・小倉城庭園指定管理事業	小倉城・小倉城庭園の管理運営に要する指定管理料。	新型コロナウイルス感染症の影響による減収見込分を上乗せしているため、当初予算額の大幅な増額があったもの。	66,204	48,706	-17,498
22				AIMビル賃借料	AIMビル賃借料・共益費	—	26,772	26,772	0
23				観光関連施設整備事業	観光案内板・観光施設の維持補修や改修を実施する事業。	経費削減の見直しを行った。	2,031	1,831	-200
24				血倉地区等観光施設管理事業(公共)	血倉山をはじめとする観光施設の法定点検や占用手続等、維持管理運営を行う。	法定点検、維持管理費等のため削減不可。	22,578	24,053	1,475
25	○			観光振興推進事業	エージェント等へのセールスや情報発信、観光プロモーションの実施、観光案内所の管理運営を行い、観光振興を図る。	継続的なセールス活動を実施し、リピーター観光客の確保や滞在時間の延長を促進するとともに、観光資源の発掘・磨き上げの強化により、来訪者の満足度向上を図る。	61,430	21,480	-39,950

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
26				四都市交流連携事業	鹿児島市・熊本市・福岡市と連携し、東アジア等からの更なる観光客誘致を目指す。	従来ターゲットとしていた東アジアにとどまらず、東南アジアや、オリンピック・パラリンピックを契機として増加が見込まれる欧米地域からの観光客流入も見据え、各都市との連携強化を図りながら事業に取り組む。	2,500	2,500	0
27				東アジア観光客誘致推進事業～ビジット北九州～	主に、韓国・台湾・香港・中国をターゲットにし、市内観光関連企業とともに外国人観光客に対する誘致の推進整備を図る。	韓国・台湾・香港・中国向けのプロモーションを継続しつつ、福岡への直行便も多く、訪日客数の伸びも大きい東南アジアへのプロモーションにも取り組む。	14,813	14,014	-799
28				観光客動向実態調査事業	観光諸施策を効果的に推進するため、本市の観光客の動向や特性を把握するための調査を行う。	観光施策の効果を計測するため、本市の観光動態を把握する。また、5年ごとに実施しているパラメータ調査(観光動態調査の基礎調査となるもの)を実施する。	1,000	5,000	4,000
29				観光振興一般事務	一般事務費	—	20,038	18,953	-1,085
30				血倉地区等観光振興事業	本市の魅力的な観光地エリアの周遊性を高め、集客を図ることを目的として、イベント開催や情報発信を行う。	経費削減の見直しを行った。	8,465	8,148	-317
31		○		食のプロモーション事業	市内外からの観光客誘客や夜型観光の推進のため、観光資源であるA級、B級グルメなどや魅力ある食材の認知度向上を図る。	—	4,450		-4,450
32		○		<新>OTAを活用した宿泊キャンペーン事業	旅行予約サイト(OTA)を活用して、国内及び海外個人を対象に、市内の主要宿泊施設において1,000円、2,000円、3,000円のいずれかで客室を販売し、市が差額を助成するキャンペーンを行う。	新型コロナウイルス感染拡大により経済的ダメージを受けている宿泊事業者に対し、経済的な支援を図る。		100,000	100,000
33		○		<新>北九州市旅行商品造成事業	本市での宿泊を伴う商品や、市内観光施設への入場・食事が含まれる商品を造成した旅行社に対し、助成金を支給する。	観光スポットや宿泊施設を組み合わせる観光客に訴求する商品を旅行社に造成してもらうことで、それらの商品を通して本市の魅力や体験を体感してもらい、観光産業の振興を図る。		7,000	7,000
34		○		<新>小倉城庭園ライトアップリニューアル事業	老朽化のため大部分が故障している小倉城庭園の既設のライトアップ設備のリニューアルを行う。	夜型観光資源として、マイクロツーリズムによる市内観光客の集客やインバウンド回復に備え、日本庭園らしい「和」を楽しめるライトアップを行うとともに、夜型イベントやユニークベニューの際のおもてなし演出が行える照明設備を整備する。		25,000	25,000
35		○		<新>血倉山頂夜間景観整備事業	血倉山頂において、麓からも夜景観賞地としてのPR効果が得られるようなイルミネーション等の夜間景観整備を行う。	血倉山頂展望台から恋人の聖地のシンボルでもある「天空ドーム」までの遊歩道に、本市の絶景である河内藤園の藤をイメージしたLEDイルミネーションの回廊を整備する。		18,000	18,000
36		○		<新>国際会議場ライトアップ整備事業	本市の玄関口である小倉都心部において、道路、公園、河川、観光・交流施設等の夜間修景整備を一体的に行う。	磯崎新氏が設計した国際会議場や市立美術館、中央図書館等、意匠性の高い公共施設について、ライトアップの整備を実施し、更なる夜景観光PRにつなげる。		10,000	10,000
37				観光施設補強事業	観光施設の耐震化等の補強事業を行う。	「血倉山観光施設補強事業」「小倉城続櫓改築整備事業」「小倉城着見櫓耐震補強事業」の3事業を統合		7,800	7,800
38		○		<新>公用車リース経費	公用車のリース経費	—		574	574
39		○		<新>観光振興プラン検討・策定事業	平成26年5月に策定した「北九州市観光振興プラン」は計画予定期間の終了時期を迎えており、に新たな観光振興プランを打ち出すために調査や検討を行う。	—		9,000	9,000
40				観光案内所運営等事業	本市の観光情報発信拠点である市内3か所の観光案内所の機能強化を図り、観光客の満足度向上等を目指す。また、北九州空港案内所の見直しのため調査・検討を行う。	R2年度に移転リニューアルした小倉駅の案内所を含めた3か所の観光案内所について、運営面においても機能強化・案内強化に取り組むため、必要な運営経費の増強を図る。また、機能強化の一環として、北九州空港案内所の見直しを図る。(裁量B・観光振興推進事業から分離・拡充)	38,722	61,422	22,700

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
41		○		<新>夜景モニターキャンペーン事業	「全国夜景サミット(むつ市)」、「世界夜景サミット(長崎市)」、「全国名月サミット(北九州市)」に参加する夜景観光士や夜景観光関係者を対象に、本市の夜景スポットを無料で利用できる「北九州夜景満喫パスポート」を配布し、本市の夜景を堪能してもらうとともに、本市の日本新三大夜景都市の再認定への支援をお願いする。	—		5,000	5,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 門司港レトロ課		重点項目	門司港レトロ地区のにぎわいの創出。			
	課長名	奥村 和美		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	612,395 千円
令和2年度当初予算額(B)			599,828 千円				
					増減額(A-B)	12,567 千円	
					人件費	目安の金額	課長 1 人
						76,500 千円	係長 2 人
							職員 6 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			○	関門海峡都市・観光まち びらき連携事業(投資)	門司港レトロ地区ライトアップ(夜間景観)工事の実施により、関門地域のさらなる魅力向上を図り、観光客の誘致を促進する。	—	81,200		-81,200
2			○	関門海峡都市・観光まち びらき連携事業(行政)	多言語対応アプリケーションの運営管理や、ビッグデータ等を活用した戦略的観光振興事業の実施により、関門地域のさらなる魅力向上を図り、観光客の誘致を促進する。	—	10,000		-10,000
3	○			門司港レトロリニューアル 事業(施設更新)	施設の価値の維持とともに、観光地としてのさらなる魅力向上のための事業を実施する。	施設の機能維持及び安全対策のための措置を講じる。	33,600	16,000	-17,600
4	○			門司港レトロリニューアル 事業(施設更新以外)	施設の価値の維持とともに、観光地としてのさらなる魅力向上のための事業を実施する。	施設の機能維持を図る。	13,000	4,600	-8,400
5				門司港レトロ観光列車推 進事業(運行補助金)	門司港レトロ観光列車の運行補助金	新型コロナウイルス感染症の影響による減収見込分を上乗せしているため、当初予算額の大幅な増額があったもの。	18,000	18,000	0
6				門司港レトロ地区産業観 光施設指定管理者制度 導入事業(指定管理)	門司港レトロ産業観光施設の指定管理料	新型コロナウイルス感染症の影響による減収見込分を上乗せしているため、当初予算額の大幅な増額があったもの。	367,638	366,553	-1,085
7				観光施設管理運営事業 (門司港レトロ課)(公共)	三宜楼の維持管理及びその他施設の維持補修、観光列車運行に係る鉄道用地借地代等	施設の機能維持を図る。	12,109	11,549	-560
8			○	観光振興一般事務(門司 港レトロ課)(公共)	門司港レトロ観光列車運行に係る経費(鉄道用地の借地代)	No.10「観光施設管理運営事業(門司港レトロ課)(公共)」に統合	900		-900
9				観光振興一般事務(門司 港レトロ課)(その他)	門司港レトロ課一般事務費	—	9,673	9,028	-645
10				門司港レトロ観光推進事 業(その他)	官民一体となった門司港レトロの観光振興	観光地としての価値の維持・向上を図る。	35,260	34,720	-540
11				土地取得特別会計 公債特会繰出金(産業経 済局分)	門司区東港町12番(旧四建跡地)の土地購入の際に銀行から借り受けた債務の利子分償還経費	—	448	445	-3

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				門司港レトロ地区における東アジア文化都市2020北九州推進事業	東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、多様な文化の国際発信力の強化を図るためイベント等を実施し、文化交流のきっかけとなる産業・観光の振興を促進する。	イベント等を実施し、文化交流のきっかけとなる産業・観光の振興を促進し、門司港レトロ地区への関心を高め、観光客増加による地域経済の活性化を図る。	9,000	9,000	0
13		○		大連友好記念館リニューアル事業	大連友好記念館のリニューアル業務を行い、門司港レトロ地域の賑わいの更なる創出や、経済効果へとつなげる。また、大連市の文化や観光情報についてもPRを強化する。	—	9,000		-9,000
14		○		<新>観光地の「まちあえるき」の満足度向上整備支援事業	レトロ中央広場・大連友好記念館前広場・門司港駅前広場における無料公衆無線LAN(Wi-Fi)の整備及びデジタルサイネージの設置による情報発信の強化を行う。	—		19,000	19,000
15		○		<新>門司港レトロ・和布刈地区夜のにぎわい創出事業	門司港レトロ地区の夜景プロモーション及び和布刈地区におけるナイトマーケットの実施	—		10,000	10,000
16		○		<新>歴史的建造物耐震改修事業(旧門司三井倶楽部・旧大阪商船)	旧門司三井倶楽部(重要文化財)及び旧大阪商船(登録有形文化財)の耐震補強及び保存修理の実施	施設の価値を維持し、門司港レトロ地区における集客の拠点とする。		66,500	66,500
17		○		<新>九州鉄道記念館PFIアドバイザー事業	九州鉄道記念館の施設老朽化対策及び魅力向上を目的として検討しているPFI手法について、その実施方針の策定や事業者の公募等についてのアドバイザー業務を委託する。	—		0	0
18		○		<新>門司港レトロ観光列車整備事業	門司港レトロ観光列車の車体の重要部検査(法定点検)及び鉄道施設の計画修繕	—		47,000	47,000



令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 渡船事業所		重点項目	・安全で安定した運航を維持するため、渡船運航、施設管理全般に関する必要な経費を計上する。						
	課長名	新田 龍二		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	397,400 千円	目安の金額	課長	1
令和2年度当初予算額(B)			382,900 千円			81,500 千円	係長		1	人
				増減額(A-B)	14,500 千円				職員	8

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				小倉棧橋改修事業	老朽化した小倉棧橋の改修。	—	1,500	1,780	280
2				渡船管理業務	若戸航路、小倉航路の渡船管理に係る経費。	老朽化した施設の改修を行う。(渡船事業所2階トイレ改修、渡船事業所シャッター改修等)	11,480	13,420	1,940
3				渡船運航業務	若戸航路、小倉航路の渡船運航に係る経費。	船員派遣業務委託(予備船長及び船長退職代替)及び小倉航路船舶(こくら丸)の検査費用を計上した。	279,697	296,247	16,550
4				職員給(渡船)	渡船事業所職員10名分を計上。	—	81,597	81,632	35
5				繰出金	公債償還への繰出金。	—	8,426	4,121	-4,305
6				予備費	予備費。	—	200	200	0

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 商業・サービス産業政策課		重点項目 ・リノベーションまちづくりなどにより、広域商業拠点としての魅力アップや中心市街地にふさわしいにぎわいづくりを図る。 ・商店街における消費喚起等の取組を支援し、商店街組織の維持・強化を図るほか、個店支援の取組も行い、地域商業の振興を図る。 ・国内潜在需要に対応した新たなビジネスと雇用の創出を図る。									
	課長名	原田 健二		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	92,011 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						令和2年度当初予算額(B)	104,630 千円		係長	4	人	
						増減額(A-B)	-12,619 千円		職員	12	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○	○		<新>黒崎応援プロジェクト事業	令和2年8月にクロサキメイトが閉店し、黒崎地区の活気が落ち込んでいる中、活気を取り戻すために令和3年度から黒崎地区でのイベント等を支援をするもの。	—		11,000	11,000
2				堺町公園魅力向上事業	堺町公園を活用し「食」にスポットを当てた飲食屋台の実施を予定しており、新たなにぎわい創出に向けた支援を行うもの。	令和2年度に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施ができない状況が続いていた。新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ消費の回復やまちなぎわいを取り戻す契機とするため、令和3年度に、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に取っながら新たなにぎわい創出に向けた支援を行う。	1,500	1,500	0
3				商店街満足度向上事業	Withコロナ時代でも商店街に立ち寄る買い物客の満足度を向上させるための支援事業を実施する。	本事業では、商店街を訪れる外国人観光客に目を向けた施策を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で商店街をとりまく状況が一変し、外国人観光客はおろか市内からの買い物客の客足も以前の状態に戻っていない。そこで、Withコロナ時代でも商店街に立ち寄る買い物客の満足度を向上させるための支援事業を実施し、一人でも多くの客に商店街に足を運んでもらう。	5,000	1,000	-4,000
4				北九州市商圈調査	北九州市及び周辺に在住の主婦、独身者、高齢者等を対象に、消費購買行動等を調査し、北九州市の商圈構造がどのように変化しているかを明らかにする。	令和2年度に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年度は事業中止したため、令和3年度に改めて実施するもの。なお、八幡東田地区へのイオン出店等の商圈変化を調査するため、東田地区の利用状況調査を追加する。	20,000	20,000	0
5	○			黒崎地区リノベーション事業	黒崎地区の空き物件等をリノベーションの手法により再生させ、商業の活性化及び魅力向上を図る。	スクールの題材物件等の事業化へ向けた支援や、まちづくりを実践できる「プレイヤー（民間事業者）」を発掘し、民間事業者のビジネススペースとしての取り組みを推進する。	10,000	12,000	2,000
6				商店街プレミアム付商品券発行支援事業	商店街等が実施するプレミアム付商品券発行事業に対し、県と連携して商品券発行にかかる経費の一部を補助する。	取扱店の売上や来店客数の増加に効果的な事例などを引き続き周知することにより、経済効果の増加を図る。	14,000	0	-14,000
7	○			サービス産業振興事業	市内サービス産業の生産性向上を目的とし、サービス産業の振興に関する人材育成や具体的な活動の支援、デザイン産業の振興等を図る。	市内サービス産業の生産性向上を図るため、クラウドサービスの導入支援等、引き続き具体的な活動の支援を強化する。	3,285	3,164	-121
8	○			健康・生活産業振興事業	北九州市健康・生活産業振興協議会を核に、健康・介護、女性・若者、子育て・教育分野等の健康・生活サービス産業において、地域企業の支援やビジネスマッチング等の取組を通し、新たなビジネスの創出とサービスの向上を促進し、雇用の創出を図る。	新たに参入する可能性が高いと思われる分野について調査・検討し、実証の支援を行うことで、企業の自立的な新規進出を促すきっかけづくりを行う。	9,252	8,852	-400

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9	○			リノベーションまちづくり推進事業	遊休不動産の再生を通じ、雇用の創出並びに街なかのにぎわいづくりの拡大を促進する。	これまでに蓄積したノウハウを生かし、事業主体に寄り添った支援を継続して取り組む。黒崎地区のリノベーション強化のため、本事業の規模を縮小し、黒崎地区リノベーション事業を拡大することとした。	5,952	3,414	-2,538
10	○			商店街活性化支援事業	商店街における空き店舗の有効利用促進や、新たな事業への補助、活性化計画作りを支援することにより、商店街及び小売市場の活性化を促進する。	商店街等における空き店舗の有効利用に関する補助金の制度活用が増加傾向にあるため、補助事業を強化することとした。	9,938	10,850	912
11		○		街なか商業魅力向上事業	小倉・黒崎の両中心市街地における商店街の活性化を支援するため、「商業活性化懇話会事業」、「フォローアップ調査事業」を実施する。	—	5,518		-5,518
12				中小企業団体共同施設等設置補助	商店街組合等の中小企業団体が、アーケードや共同駐車場、省エネ型照明設備を設置等する場合に、経費の一部を補助する。	—	5,110	5,110	0
13	○			商業人材育成事業	市内の企業経営者への支援や、次世代育成活動、経営者等の交流促進を通じ、人材の育成を図る。	市内で商業を営む経営者・後継者等を対象に、専門のコンサルタントによる具体的かつ実践的な講座を開講し、事業者への支援を行う。	2,158	2,106	-52
14				大規模小売店舗立地法運用事業	大規模小売店舗立地法の届出にかかる事務経費。	—	624	593	-31
15				産業振興一般事務(商業・サービス産業政策課)	一般事務費。	—	4,586	4,597	11
16				食品ブランド化・販路開拓支援事業	今後の成長が見込まれる中小食品製造業に対して、商品の企画・開発・試作から販路開拓、販売までを一環して支援する。	高品質で個性あふれる商品を開発する優れた中小食品製造業が多数存在しているが、マーケティング力や営業戦略が弱いために、売上が伸び悩んでいるケースが多いため、商品開発から販売までの一貫支援を行うとともに、食のイベント開催等を通じて引き続き積極的なPRを行う。	7,707	7,825	118

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 MICE推進課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心部のにぎわい創出</li> <li>・都心部へのさらなる集客促進</li> <li>・MICE誘致の推進</li> </ul>						
課長名	河津 伸二	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	1,118,823 千円	人件費	目安の金額	課長	2	人
				令和2年度当初予算額(B)	807,747 千円		係長	3	人	
				増減額(A-B)	311,076 千円		職員	6	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				情報誌「雲のうえ」都市イメージアップ事業	情報誌「雲のうえ」を発行するほか、本市のにぎわいづくりを推進する民間のリーダー組織の活動を支援する。	内容を更に充実させるとともに、本市の新たな魅力や時代と共に変わる街の様子を市内外に発信し、シビックプライドの醸成を図る。	9,200	10,830	1,630
2				わっしょい百万夏まつり	本市のにぎわいを創出し、集客促進や経済効果を目指すため、わっしょい百万夏まつりの開催経費の一部を助成する。	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた安全・安心な祭りを実施し、まちのにぎわいを創出するとともに、市民が誇れる祭りを目指す。	54,700	54,700	0
3				まつり振興補助事業	本市のにぎわいを創出し、集客促進や経済効果を目指すため、市内の祭りに対して開催経費の一部を助成する。	にぎわいの創出や集客促進を図り、本市の観光客の増加につなげる。	14,630	14,680	50
4				民間イベント支援事業	民間団体等が実施するイベント等の事業費の一部を助成することで、本市のにぎわいを創出させるとともに、民間団体等が恒常的・継続的・自主的にイベント等を実施していく将来的な土壌作りを行う。	まちのにぎわいにつながる事業やイベントについて、新規性や話題性を求めつつ、実施にあたっては新型コロナウイルス感染症対策に留意する。	2,500	2,500	0
5	○			MICE誘致推進強化事業	MICE誘致の重要なインセンティブとなるMICE開催助成金制度を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、MICE開催は変化の局面を迎えている。感染症やオンラインに対応した新たな助成制度を創設し、情勢の変化にあわせた支援を速やかに行うことで「国際MICE都市北九州」を目指す。	94,000	88,000	-6,000
6				グローバルMICE都市推進事業	国からグローバルMICE強化都市に選定されたことを契機に、本市のMICEに関する取組を強力に推進していくとともに、MICE開催都市として認知度や総合的な魅力向上を図っていき、「国際MICE都市北九州」を目指す。	北九州市グローバルMICE推進協議会を活用し、ステークホルダーと連携を図り、「国際MICE都市北九州」を目指す。	7,200	6,400	-800
7				産業見本市開催事業	本市の特性を活かした展示会を開催し、市内産業の活性化に寄与する。	本市の特性を活かした展示会の開催が実現するよう努める。	3,200	1,600	-1,600
8				北九州国際展示場管理運営業務	国際展示場の指定管理料	—	296,781	296,614	-167
9				北九州国際会議場管理運営等業務	国際会議場の指定管理料	—	194,048	194,271	223
10		○		北九州国際展示場施設整備事業	国際展示場の設備改修工事	—	19,800		-19,800

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				北九州国際展示場施設整備事業(債務負担)	国際展示場の設備改修工事	施設の長寿命化を図るため、維持管理を徹底する。	9,520	9,520	0
12		○		<新>北九州国際展示場施設整備事業(債務負担)	国際展示場の設備改修工事	今後のMICE誘致推進を図り、来場者が快適に過ごせるよう、北九州国際展示場のトイレのユニバーサルデザイン化や照明のLED化等の施設改修を実施する。		350,000	350,000
13		○		北九州国際会議場施設整備事業	国際会議場の設備改修工事	—	13,000		-13,000
14				都心集客推進事業	都心部のにぎわい創出及び集客交流の推進を図るイベントや企画を実施する。	小倉駅新幹線ロエリアの主要施設と連携し、都心全体の回遊性を向上する。	8,820	8,570	-250
15				TGC北九州2021開催事業	史上最大級のファッションイベントである「東京ガールズコレクション」とのコラボイベントを本市で開催することで、地方創生に向け新たなイメージ創出とともに、地域の活性化を図る。	新型コロナウイルス感染症対策も講じ、商業施設や商店街等と連携した関連企画を実施することにより、イベント期間の前後を通じた街のにぎわいづくりや本市の魅力発信に取り組む。	35,000	35,000	0
16				COOL KITAKYUSHU推進事業	本市の持つマンガやアニメ、モノづくり文化等を基盤として、ポップカルチャーを切り口に都心部のにぎわいづくりを行うとともに、世界に発信しうる新たなビジネスを創造する。	新型コロナウイルス感染症対策も講じ、東アジア文化都市のコア事業として、アジアを中心とした海外への情報発信を推進する。	36,000	36,000	0
17				MICE推進拠点整備事業	課の一般事務費	執行状況に応じた必要経費の見直しを行った。	8,075	7,755	-320
18				公用車リース経費	車両リース代	—	423	383	-40
19		○		わっしょい百万夏まつり(賞金)	わっしょい百万夏まつりに係る賞金	—	850		-850
20		○		<新>「Withコロナ」での民間イベント支援事業	コロナ禍における新しい形態の民間イベントの支援・育成を行う。	世界的に関心が高まっているeスポーツによるイベントなど、コロナ禍でにぎわい創出に繋がらない新しい形態のイベントを支援する。		2,000	2,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 企業立地支援課		重点項目 ・企業立地促進による雇用創出 ・地元企業支援									
	課長名	城戸 健一		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	3,189,531 千円	人件費	目安の金額	課長	4	人
						令和2年度当初予算額(B)	4,926,534 千円		係長	7	人	
						増減額(A-B)	-1,737,003 千円		職員	10	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				首都圏企業誘致推進事業	首都圏に本社を置く優良企業に対し、迅速かつ積極的な誘致活動を行う。	—	5,746	4,936	-810
2	○			企業立地促進事業	本市への企業立地を促進するため、企業向けのパンフレットやホームページ等による情報発信、立地企業と地元企業との交流会開催などを行う。	情報通信産業など重点誘致産業の本市への立地を促進するとともに、市内企業の増設や事業拡張に向けた支援を積極的に進めることで、雇用の創出拡大を目指す。	24,834	22,629	-2,205
3				産業振興一般事務(企業立地支援課)	企業誘致を進めていく上での諸活動経費(一般事務費)	—	2,806	2,596	-210
4				企業立地促進補助金	市内立地(新設・増設)企業に対し、一定の雇用を創出する場合に、補助金を交付する。	ホームページ等を活用し、制度の周知を図る。	2,420,000	1,570,000	-850,000
5				本社機能等移転促進補助金	地方創生による本社機能の地方移転の機運をとらえ、企業の立地を支援するため、補助金を交付する。	令和2年度に本社機能等のオフィス賃貸に係る補助制度を新設。ホームページ等を活用し、制度の周知を図る。	200,000	478,000	278,000
6				企業立地促進資金融資	市内において工場、事業所等を新増設しようとする企業に対し、低利な融資を提供することで、企業立地を促進し、本市経済の振興及び雇用の創出・拡大を図る。	新設・増設の可能性がある企業に対して、金融機関と連携し、制度の周知を図る。	821,933	495,000	-326,933
7	○			航空機産業誘致促進事業	本市における航空機産業の振興を図るため、福岡県と共同で航空機関連企業の誘致に取り組むとともに、地元企業の新規参入、事業拡大に向けた支援を行う。	航空機産業への参入にあたっては、高度な技術力や品質管理資格など、高いハードルが求められることを踏まえ、「福岡県航空機産業振興会議」の取組みと併せて、地元企業の個別具体的なニーズに応じた支援を行っていく。	2,500	2,655	155
8	○			響灘エリア誘致推進事業	若松区響灘エリアの優位性を活かし、製造業をはじめとした企業の集積を促進するため、未利用地への積極的な誘致活動を行う。	R2年度に大規模な民間産業団地の開発に着手することが決定したことで、当該用地への本格的な誘致活動が開始できることとなった。引き続き誘致企業のニーズに応じた支援を行い、進出を後押しする。	2,050	2,000	-50
9			○	地元製品街かどショールーム事業	「地元製品街かどショールーム」等を活用した地元製品のPRや認知度向上、販路拡大に向けた支援を行う。	—	500		-500
10	○			自動車産業取引拡大支援事業	地元企業の技術力などの情報発信やビジネスマッチングを行う。	パーツネット北九州による情報発信やマッチング機能の強化を行い、地元企業の支援を実施する。	4,744	4,535	-209

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11			○	自動運転バス実用化等 支援事業	次世代自動車の研究開発拠点を目標し、企業や大学が行う自動 運転技術の開発や実証を支援する。	次世代自動車産業拠点化事業と統合し、事業内容を見直したもの。	2,000		-2,000
12			○	次世代自動車研究開発・ 実証拠点化事業	世界的に注目される自動運転の中核技術であるAIに関する研究を 加速し、研究開発・実証拠点化を図るため、関係団体との連携強 化、実証フィールドの提供などの取り組みを進める。	FAISの運営体制の見直しにより、事業内容を見直し、自動運転関連産業推進事業に統合す るもの。	3,000		-3,000
13				次世代自動車産業拠点 化事業	「次世代自動車産業拠点の形成」実現に向け、関連産業の集積や 人材育成等に取組む。	自動運転バス実用化等支援事業と統合し、事業内容を見直したもの。	3,120	3,554	434
14			○	カーエレ・カーロボ高度人 材育成事業	本市の強みであるものづくり基盤技術と、学研都市を中心とした学 術研究の成果を活用し、地域企業の技術力強化や新規参入促進 等を図るとともに、本市の産業を支える高度人材育成を行う。	産業イノベーション推進室に移管したもの。	8,500		-8,500
15	○			IT系企業の地方での人材 供給モデルづくり事業	平成30年にIT系企業の大手3社進出が決定した。これを契機に、こ れまで市内外に構築してきた人材供給ネットワークを活かし、「求 める人材を」「必要な人数」採用できる地方展開のモデルづくりに 取り組み、更なる新規企業の誘致に繋げる。	これまでの取組により培ったノウハウやネットワークを活かし、引き続き人材採用支援に注力 することで、北九州拠点での人材獲得を図り、更なる新規企業の誘致を目指す。	6,000	6,000	0
16	○			オフィスリノベーション補 助金	IT企業等を新規に呼び込むため、また、市内拠点の増設を促すた めの受け皿が不足していることから、企業に選ばれるオフィス環境 の整備を目的とし、市内オフィスビル等を改修する者に対して補助 金を交付する。	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、既存の補助制度を拡充し、テレワーク環境整備 や抗ウイルス対策を講じたオフィスづくりなど新しい生活様式の視点を踏まえたオフィス整備 を行う場合についても補助の対象とする。	50,000	10,000	-40,000
17				本社機能移転等PR事業	本社機能等の移転のため、本市の優位性であるBCP等のPRを行 い、企業誘致を図る。	—	4,036	3,701	-335
18				オフィス立地促進補助金	市内オフィスビルへ事業所を設置(賃借)する企業へ補助金を交付 する。	市内コワーキングスペースへ新規事業所を設置(賃借)する企業(対象業種を限る)に対し、 新たな雇用を生み出したことを要件に補助金を交付するもの	118,000	110,000	-8,000
19			○	次世代産業(自動運転) 集積促進事業	自動走行・隊列走行・遠隔運転等による次世代の地域交通システ ムの実用化と、それらの活用を見据えた最新鋭の物流拠点化の実 現に向けた検討を行う。	自動運転関連産業推進事業に統合するもの。	3,000		-3,000
20				産業支援団地維持管理	サイエンスパーク及びテクノパーク八幡西(調整池)の維持管理を 行う。	引き続き、適正な維持管理に努める。	1,265	1,225	-40
21				牧山工業団地整備事業	戸畑枝光線牧山ランプの構造計画変更に伴い不要となった道路 用地を活用し、本市の物流や産業振興に資するため、産業用地と して分譲を行うため、土地開発基金から買戻しを行う。	企業ニーズに応じて用地を売却できるよう、土地開発基金からの買戻しを行う。	61,632	61,632	0
22	○			北九州空港跡地産業団 地整備事業	北九州空港跡地の一部を、地域への波及効果の高い自動車関連 企業を中心とした新産業拠点とするため、産業団地の整備を行う。	企業立地を進めていくため、関係部局と調整を図りながら、造成工事等を進める。	368,896	181,295	-187,601

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
23				北九州臨空産業団地整備事業	北九州空港及び東九州自動車道の整備により、立地ポテンシャルが上昇する小倉南区朽網地区に、生産物流機能を持った企業の集積を図るため、産業用地の整備を行う。	分譲地は平成29年度に売却(貸付含む)したため、地区内緑地の維持管理に努める。	5,000	5,000	0
24				サイエンスパーク整備事業	産業用地整備特別会計で購入したサイエンスパークの一部について、企業ニーズに応じた用地を確保するため、必要に応じた整備を行う。	北九州市芦屋町連絡道路の供用開始に向けた手続きを行っていくとともに、企業立地を進めていくため、地区計画の変更を行う。	176,719	164,059	-12,660
25				公債償還特別会計繰出金	公債償還に関する経費	—	630,253	15,714	-614,539
26		○		<新>自動運転関連産業推進事業	自動運転分野への市内企業の参入、研究開発施設の誘致等を推進する。	市内企業等の自動運転分野への参入を図るため、産学連携による技術開発や共同研究等を推進する。		4,000	4,000
27		○		<新>次世代スマートビル建設促進補助金	地方進出を考慮する企業から選ばれる、魅力あるオフィスビルの新規供給を促すため、感染症予防・デジタル化などの機能を実装する、一定規模の賃貸用オフィスを整備する事業者に対し、ビルの建設費及び解体費を補助するもの。	IT企業が希望する良質な賃貸用オフィスが不足しているため、魅力あるオフィスビルの新規供給を促す新たな補助制度を策定する。		10,000	10,000
28	○	○		<新>お試しサテライトオフィス誘致促進事業	本市で新たなサテライトオフィスをはじめとした事務所などの設置を検討する首都圏のIT企業等に対し、検討に係る経費(旅費、宿泊費、コワーキングスペース)の支援と、サポート体制の構築により、本市での企業のマーケティングを伴走型で支援し、首都圏からのサテライト拠点誘致につなげるもの。	進出を検討する企業から市内企業や地元学生とのマッチングに対する希望が多いため、マッチングコーディネータ(ビジネスの創出可能性を判断できる人材)を配置し、本市への誘致促進を図る。		30,000	30,000
29		○		<新>オンラインを活用した高度人材採用支援事業	全国約5,000人超の高専生及び高専卒業生に対してキャリア支援を行う民間企業との連携により、より広く高専生に向けてアプローチする手段を開拓し、「学生・OB」との関係構築による高度エンジニア人材の確保・中途人材採用支援のツールを提供し、本市採用支援の優位性を高める。	これまでアプローチできていなかった人材への訴求や、「企業の求めるタイミングで」「より効果的に」アプローチすることが可能となることで、本市の人材採用支援の取組みの更なる充実を図る。		1,000	1,000



令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 産業イノベーション推進室		重点項目 ・地元企業の高度化・新製品開発支援のため、研究開発の促進を行う ・外郭団体の事業や組織の更なる選択と集中を図る一方、戦略的分野(ロボット、情報産業)を中心に研究開発を推進するとともに、その成果が実用化・事業化へつながるような科学技術イノベーションの好循環を創る。								
	課長名	藤富 誠吾		コスト 事業費	令和3年度当初予算額(A)	2,118,868 千円	人件費	目安の金額	課長	2	人
					令和2年度当初予算額(B)	2,243,854 千円		係長	6	人	
					増減額(A-B)	-124,986 千円		職員	7	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			ロボットテクノロジーを活用した地方大学・地域産業創生事業	産学連携による革新的ロボットの研究開発を行うとともに、ロボット等の導入支援を通じて、地域の中小ものづくり企業の生産性革命を推進する。	内閣府の地方大学・地域産業創生交付金を活用し、中小ものづくり企業のロボット等導入支援拠点の実施設計に着手する。	0	27,000	27,000
2	○			ロボットテクノロジーを活用した地方大学・地域産業創生事業	産学連携による革新的ロボットの研究開発を行うとともに、ロボット等の導入支援を通じて、地域の中小ものづくり企業の生産性革命を推進する。	内閣府の地方大学・地域産業創生交付金を活用し、次世代ロボットの研究開発を加速化するとともに、中小ものづくり企業へのロボット等導入支援を強化する。	181,000	176,000	-5,000
3				学術研究都市管理運営事業(機器・設備更新)	北九州学術研究都市内の産学連携施設、共同利用施設における機器・設備の中で老朽化しているものについて更新を行うもの。	機器の故障により使用不可となったため、至急対応が必要な機器についてのみ予算計上を行う。	5,600	19,800	14,200
4				学術研究都市管理運営事業(施設改修工事)	北九州学術研究都市の老朽化した各建物・設備等の改修工事を行う。	学術研究都市は、平成13年の開設から20年が経過し、各建物・設備が老朽化しており、改修が必要となっている。緊急対応・至急対応が必要な箇所について改修を行う。	10,100	4,300	1,005
5		○		北九州市中小企業技術開発振興基金積立事業	公益財団法人への出損金の一部の返還(寄附)受け、中小企業技術開発振興基金に同額を積み立てる。	—	100,000		-100,000
6				学術研究都市「大学・関連施設地区」拠点化事業	学研2期の大学・関連施設地区の市有地の処分を行い、大学・研究機関等の集積を図る。	大規模区画に対するニーズ等を踏まえた売却のほか、一部区画を分割して売却するなど、大学・研究機関等の誘致を積極的に行い、分譲用地の早期売却に努める。	571,634	529,927	-41,707
7				公用車リース経費(新産業振興課)	学術研究都市にある新産業振興課分室用に、公用車のリース契約を1台行うもの。	—	169	169	0
8	○			学術研究都市留学生宿舍管理運営事業	「アジアの中核的な学術研究拠点」を目指す北九州学研都市に、海外からの優秀な人材を受け入れるため、生活の基盤となる住宅の整備を図るもの。	適切な施設管理を行うことで経費を削減し、引き続き留学生に対し住宅面での支援を行う。	103,044	102,780	-264
9	○			学術研究都市管理運営事業(債務負担)	北九州学術研究都市の各種機器、システムのリース料	半導体機器のリース契約については、可能な限り再リース対応とすることで契約金額の削減を行う。	49,687	49,687	0
10				学術研究都市管理運営事業(指定管理)	民間等のノウハウを最大限に生かすことにより、利用者の多様なニーズに応え、市民サービスの向上を図り、多様で効果的な施設運営を図るもの。	学術研究都市の一体的な運営を行うために、施設の管理運営、産学連携の推進を行う。	743,530	742,030	-1,500

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				産業振興一般事務(新産業振興課)	一般事務費	—	9,011	8,596	-415
12	○			ロボットテクノロジーを活用したものづくり力強化事業	市内中小製造業の生産現場へのロボット導入を進めることにより、市内のものづくり企業の生産性の向上や競争力の強化を図る。	地方大学・地域産業創生交付金を活用し、引き続き生産現場へのロボット導入を進めるなど、市内ものづくり企業の生産性の向上や競争力の強化を図る。	39,200	37,574	-1,626
13				研究開発プロジェクト支援事業	市内企業の技術力の強化及び新事業の創出を図るため、産学連携による研究開発の取組みを支援する。	継続的に大学・企業における研究開発のプロジェクトの支援を行う、また、地方大学・地域産業創生交付金を活用し、生産性の向上につながる研究開発についても支援を行う。	55,305	52,790	-2,515
14	○			重点産業振興事業	本市のロボット産業拠点形成と地域産業の生産性向上に資する事業を実施する。また、福岡県とのロボット産業をテーマとした広域連携を促進する。	事務事業の見直しを行いつつ、引き続き、ロボット産業の拠点形成を進めるとともに、地域のものづくり企業の生産性向上支援に取り組む。	9,677	9,387	-290
15				学術研究拠点推進事業	学術研究都市の一体的な管理運営、大学間連携、留学生支援、産学連携、地域連携、情報通信産業の振興及び中小企業支援等を推進する(公財)北九州産業学術推進機構に対し、運営費補助金を交付する。	会議や企業訪問のオンライン化、職員のテレワークの推進等、新しい生活様式を踏まえた「働き方の新しいスタイル」の推進や事業の見直しをおこなう。	359,851	344,719	-15,132
16				高等教育研究機能充実事業(学研都市)	高等教育機関の充実及び機能強化を図ることにより、産学連携を通して既存産業の強化と新産業創出につなげ、北九州学術研究都市の整備と共に幅広い産業振興を図る。	R3年度より、カーエレ・カーロボ高度人材育成事業を本事業に統合し、本市の産業を支える高度人材を育成する。	6,046	14,109	8,063

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 農林課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林業の生産基盤の整備</li> <li>・担い手の育成</li> <li>・多面的な価値の創出</li> </ul>						
課長名	藤島 研二郎	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	691,088 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人	
				令和2年度当初予算額(B)	870,221 千円			156,500 千円	係長	4 人
				増減額(A-B)	-179,133 千円				職員	14 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				中山間地域・生産環境保全支援事業	一定傾斜以上の中山間地域内農地を保全する集落に対する交付金制度。	国事業を活用して、農業・農村の多面的機能の維持・発揮のために行われる地域活動や営農活動に対して支援を行う。	13,172	15,651	2,479
2				多面的機能支援事業	農業者と一般市民による活動組織が取り組む農村環境の保全活動に対する交付金制度。		14,151	15,876	1,725
3	○		○	生産環境保全対策事業	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対する助成。	—	8,576		-8,576
4				農地中間管理事業	農地中間管理機構や人・農地プランを活用して、担い手への農地集積、集約化を進める。	国の政策目標に従い、農地中間管理機構や人・農地プランを活用して、担い手への農地集積、集約化を進める。	2,475	2,475	0
5	○			人づくり担い手対策事業	新たな農業従事者の育成や、営農組織・認定農業者等への経営診断及び活動支援などを行い、農業分野における担い手を確保・育成する。	新たな農業従事者の育成や、営農組織・認定農業者等への経営診断及び活動支援などを継続するとともに、関係機関との協働の強化を進める。	11,209	17,129	5,920
6	○			農作物生産振興対策事業	安全・安心な市内産農作物の生産振興の消費拡大を図るため、関係機関と協力し、農業者の育成や市民に対して消費宣伝等を行うもの。	体験学習の実施に際し、支援を行う。	861	1,261	400
7				経営所得安定対策等推進事業	農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食糧自給率の向上と農業の多面的機能を維持するため、経営所得安定対策の実施に必要となる、地域段階の推進活動の必要経費を助成するもの。	国の政策目標に従い、農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食糧自給率の向上と農業の多面的機能を維持するため、経営所得安定対策事業の地域段階の推進活動を継続する。	5,000	5,000	0
8				都市型園芸農業推進事業	地域特性を活かした野菜、花き、果樹等の生産量の増大と生産性の向上を図るとともに、農地の有効利用促進を図るため、都市型園芸に必要な生産・出荷の整備に対する助成を行うもの。	認定農業者等の経営改善のため事業に取り組む。	9,155	8,239	-916
9				野菜価格安定・流通対策事業	市内産野菜の安定的市場供給の促進のため市場価格低迷時に価格補てんを行うもの。	契約野菜の生産振興に取り組み、生産量の増加とともに契約野菜を利用した農業者の経営改善を目指す。	11,095	9,178	-1,917
10				農業経営融資事業 (貸付・利子補給)	農業協同組合が農業者に貸し付ける資金の一部を預託。また、農業改善のための資金の利子補給を行うもの。	—	3,918	3,961	43
11				活力ある高収益型園芸農業確立対策事業	生産基盤整備のための助成を行い、生産面積の拡大と生産性の向上を図る。	農業者の所得向上のため、農業者からの要望が多い施設整備に対し支援を行うことで、本市の誇るブランド野菜等の生産拡大と生産性の向上を目指す。	24,000	4,900	-19,100
12				未利用施設等財産利活用事業	未利用施設の利用推進を行うとともに、利用が見込めないものについては解体撤去後、市有地の売却を行い、公有財産の効率的利用を図る。	建物解体の合意が取れたものから順に解体・撤去を行い、更地になった市有地の売却を行っていく。	13,000	13,000	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
13				土地改良施設維持管理 適正化事業	農業水利施設(土地改良施設)の整備・補修を計画的に実施する。	農業用施設の適切な管理を行い、管理コストの削減を図る。	16,468	17,284	816
14			農業用施設財産維持管理 事業(公共)	ため池や農道・水路などの市有農業用施設の維持補修等を行う。	80,500		49,500	-31,000	
15			農業用施設財産維持管理 事業(その他)	ため池や農道・水路などの市有農業用施設の維持管理を行う。	94,353		88,318	-6,035	
16			○	逆水池整備事業	若松区にある逆水池の機能回復等のための改修を行う。	—	11,260		-11,260
17				農業用施設等管理事務	八幡西区木屋瀬地区を灌漑する「直方市・北九州市岡森用水組合」の規定に基づき、負担金を支出する。	岡森用水の適切な管理を行う。	12,614	11,889	-725
18				農家年長者創作活動施設 管理運営費	農家年長者創作活動施設(島郷親和苑)の維持管理を行う。	—	300	300	0
19				市有ため池緊急対策事 業	市有ため池の侵入防止フェンスの改修等を行う。	計画的に市有ため池への侵入防止フェンス設置を進め、安全確保を図る。	5,450	5,450	0
20				農業用基金積立金	「農業用施設維持管理基金」に運用益や県からの維持補修費を積み立てる。	—	20,200	200	-20,000
21	○			有毛浜田地区ほ場整備 事業	若松区有毛浜田地区において、農業の生産基盤としてほ場整備を行い、耕作放棄地の解消や耕地集積・集約化を進め、担い手の確保や稲作等から高収益作物への転換を行う。	事業の実施に向け、国や県との協議に向けた基本設計の修正作業を行う。	0	0	0
22				農村環境整備事業	一定規模以上の農業用施設の改良工事を、県の補助を得て、計画的に行う。	農道や農業用施設については、農家からの要望に基づき、緊急性や効果を考えながら整備する箇所を絞り込み、当年度実施するもの、次年度以降実施するもの、将来補助事業として計画するものなど仕分けを行いながら対応している。	4,500	4,050	-450
23				土地改良事業	農道やため池、水路、井堰などの農業用施設について、小規模な維持補修、改良工事を行う。		37,542	33,787	-3,755
24				樋門管理事務	国土交通省が設置した笹尾川・黒川水系の洪水防止用樋門等の操作・点検を行う。	—	10,470	10,970	500
25				鉱害対策事務	休廃止鉱山の鉱害防止活動を支援する。 石炭鉱害の申請を受け付ける。	—	791	1,074	283
26			○	農業用水路等施設長寿 命化事業	農業用施設の長寿命化計画を策定する。	—	1,500		-1,500
27	○			ため池緊急防災体制整備 促進事業	国による農村地域防災事業等の制度が拡充されたことから、これらの制度を有効に活用し、ため池の安全性の向上を図る。	ため池に対する防災減災を効果的にかつ速やかに実施する。	213,300	97,100	-116,200

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
28				農業用施設水害防止対策事業	堰や水門が原因となっている水害を防止するため、必要な改修等を講ずる。	浸水被害等の拡大を防ぐため、堰の改修を行う。	0	0	0
29		○		<新>ため池整備事業	決壊による水害その他災害から周辺の区域への被害の防止を図る。	小倉南区大字呼野にあるお糸池の全体的な改修工事を実施するため、R3年度は実施設計を行う。		20,000	20,000
30		○		<新>ため池劣化状況評価等実施事業	「防災重点農業用ため池に係る防災工事の推進に関する特別措置法」に基づき、劣化状況評価等を実施し、必要な防災工事に着手する。	防災重点農業用ため池の劣化状況評価等を実施する。		15,500	15,500
31				特用林産振興事業	高品質な特用林産物(たけのこ等)の生産基盤整備のため、竹林改良、作業道整備、設備導入等を行う。	生産振興に取り組む箇所や団体を掘り起こし、特用林産物の生産拡大を図る。	1,800	1,800	0
32				市営林事業(補助・市単)	市有財産である市営林の人工林の経済的な価値を高めるとともに、森林の公益的機能を最大限に発揮させるため、適正な管理を行い、健全な森林の育成に努める。	間伐等の手入れを行い、森林の健全な育成に努める。市営林の立木評価を行い、市営林の更新を進める。	3,290	3,290	0
33		○		市営林看守事業	市営林の保護・管理等のための巡視を行う。	—	1,177		-1,177
34	○			荒廃森林整備事業	長期にわたって手入れが行われずに荒廃したスギ林、ヒノキ林において、強度間伐を実施し、公益的機能を長期に発揮できる森林を目指す。森林公園等において、展示効果の高い森林の整備を実施する。自伐林家の体制構築のための自伐用機材導入に対し助成を行う。	事業の理解及び協力をいただくため、森林所有者に対して、地域別説明会のほか、戸別訪問(個人や企業)への啓発を行い、早急に事業に取り組む。	90,000	75,000	-15,000
35				地域林業振興事業	林業者を確保するため、森林組合の育成強化等を図る。また、私有林の造林や保育作業を行う林業事業者、森林整備等の活動を行う団体への支援を行い森林の健全な育成を図るもの。	森林組合に対して、技術研修会等への積極的な参加や林業者の確保について啓発する。H30から森林整備等の活動を行う団体への支援を行う。	1,470	1,470	0
36				市民の森等管理事業	旧林業振興センターの管理や香月市民の森、足立山森林公園、高蔵山森林公園、皿倉・帆柱環境林を市民に快適に利用していただくため、広場、遊歩道等施設の適正な管理に努める。	維持管理については、昨年と同様の手法で執行するとともに、資産のさらなる有効活用に努める。また、森林公園等については、現地調査を行い、整備箇所優先順位をつけ、予算の範囲内で計画的に執行する。	5,449	6,324	875
37				平尾台防火帯設置事業	平尾台地区の林野火災を防止し地域住民の財産保全及び安全を確保するため、山林及び住家、諸施設への類焼防止に必要な防火帯設置に対して助成するもの。	市費の削減を図るため、国や県の補助メニューの活用などについての検討を継続する。	9,700	9,700	0
38				林道整備事業	森林の持つ公益的機能の増進、林業における生産性の向上と山村地域の振興・生活環境の改善を図るため林道の開設・改築を行い、維持管理に努める。	市費の削減を図るため、国や県の補助メニューを積極的に活用し、林道開設等の整備を進めるとともに、予算の範囲内で効率的に維持管理に努める。	43,200	43,200	0
39				林業管理事務	私有林の育成指導、保安林、治山事業、林地開発、森林計画等に係る業務等の林業振興全般に要する事務費及び北九州自然休養林巡視業務、負担金(3団体)	効率的な業務の執行に取り組む。	2,585	3,581	996

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
40	○			竹循環システム支援事業	放置竹林の解消を図るため、竹林の他樹種への転換、竹材を買い取り販売する制度の構築、竹林資源量把握調査に基づく事業に取り組む。	竹材循環システムによる竹材供給体制を構築し、竹材の活用を促進する。	6,615	3,615	-3,000
41				畑(第2)線林道災害復旧事業	平成30年の豪雨で被害を受けた当該地区の復旧事業を行う。	国県の補助金を活用し、早期の復旧を目指す。	6,000	6,000	0
42	○			森林環境保全事業	パリ協定における温室効果ガス削減の達成に向け森林吸収源の拡大や森林整備等を行う。	森林経営管理制度による森林整備や放置竹林対策を推進する。	32,752	32,046	-706
43	○			森林機能向上事業	パリ協定における温室効果ガス削減の達成に向け森林吸収源の拡大や森林整備等を行うための林道等の改修、整備を行う。	適正な森林の管理や森林機能向上のための林道、森林整備を行う。また、木材利用を促進する公共施設の整備を行う。	19,000	35,000	16,000
44				農政一般事務	農業行政の総務調整等	—	7,917	7,594	-323
45	○		○	6次産業化推進事業	農林漁業者による生産・加工・販売の一体化や商工業者との連携による新商品開発などにより、生産物の付加価値を向上させ、所得向上や地域の活性化を図る。	—	3,504		-3,504
46	○			地元いちばん・地産地消推進事業	地産地消を推進するため、農林水産物の消費宣伝、地産地消サポーター活動の充実などを行う。本市で生産される品質が優れ評価の高い産物をブランド産品(特産品)として、そのブランド力を向上させ、消費拡大、生産振興を図る。	海の幸・山の幸を愛する地産地消サポーターの活動促進の強化を行う。市内産農林水産物の消費宣伝の拡充のためのパンフレットの配布やイベント開催を行う。地元特産品のブランド力の強化のため販売イベントなどを実施する。	3,338	5,080	1,742
47			○	持続可能な産地と雇用創出対策事業	SDGs未来都市北九州にふさわしい農業を確立するため、未来へつながる持続可能な農業産地の構造確立と、農業分野の新たな雇用創出を図る。	—	6,000		-6,000
48				公用車リース経費	農林水産部が所有する公用車の更新に伴う経費	—	564	296	-268
49	○	○		<新>未来の農業スマート化推進事業	国の進めているスマート農業を本市の有する最先端の工業技術を活用して、種々の課題を解決しながら新たな農業の展開を進める。			5,000	5,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 水産課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産基盤の整備</li> <li>・担い手の育成及びビジネス化の推進</li> <li>・情報発信と連携促進</li> <li>・危機管理体制の確立</li> </ul>							
課長名	松田 聡	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	510,041 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人	
				令和2年度当初予算額(B)	530,745 千円			109,000 千円	係長	3	人
				増減額(A-B)	-20,704 千円				職員	9	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			つくり育てる漁業推進事業	種苗放流事業等に対する助成。	種苗放流など里海づくりを推進し、水産資源を増産する。	69,158	46,824	-22,334
2				水産業振興資金融資事業	市内の漁業者に漁業経営上必要な資金を融資。	—	4,000	4,000	0
3				漁業施設改善整備事業	共同利用施設等の整備に対する助成	6次産業化グループの施設整備に対する助成を行う。	3,600	1,100	-2,500
4				水産振興事務	水産振興にかかる協議会の負担金等。	—	55	55	0
5				水産業成長戦略推進事業	将来の漁業の担い手の確保と育成を図るとともに、水産物のブランド力の維持強化を推進する。	担い手育成対策事業を推進する。 市内産水産物のブランド力を強化する。特に、豊前海一粒かきをPRするため、「かき焼き祭り」を開催する。 安全安心な水産物の供給を推進する。	6,420	6,317	-103
6	○			水産環境整備事業	藻場や干潟等の保全や再生を行うと同時に、漁場環境を回復させることにより、水産物を将来にわたり安定的に供給するとともに、漁業経営の安定化を図る。	藻場や漁場の造成など生産基盤の整備を重点的、計画的に行い、里海づくりを推進する。 漁場の維持・回復保全活動を支援する。	122,000	100,000	-22,000
7			○	漁場環境変動対策事業	市民に持続的に安全・安心な水産物を提供するため、近年の気候変動などを要因とする漁場環境悪化の原因究明や課題の解決に向けて、漁場の調査を行い、必要な対策を検討する。	—	3,000		-3,000
8				離島漁業振興強化事業	持続的再生可能な漁業活動を推進するため、水産物の販売・生産面で不利な条件下に置かれている離島の漁業活動を支援し、周辺海域の環境保全や再生を行いながら離島漁業集落の経営の安定化を図る。(種苗放流事業等に対する助成。)	種苗放流など里海づくりを推進し、水産資源を増産する。 また、漁業生産・加工・流通・交流等に関する取組の支援を行う。	9,440	8,508	-932
9		○		<新>スマート水産業推進事業	これまで長年の経験や勘で行ってきた漁業の効率化を図るため、大学と連携して最新の漁場や水産資源に関するデータを収集し漁業者に提供することで、漁業の生産性を向上を目指す。	—		5,000	5,000
10				釣り棧橋維持管理事業	脇田海釣り棧橋の維持管理。	—	7,912	7,945	33

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				馬島給水事業管理運営費	上下水道局が行う馬島給水事業に対し、管理運営にかかる経費の一部を負担。	—	3,182	3,072	-110
12				海岸漂着物処理推進事業	藍島、馬島の海岸に漂着したゴミの回収及び離島海岸清掃ボランティア団体への補助。	—	3,997	3,856	-141
13				漁港照明灯LED化事業	北九州市環境モデル都市計画に基づき、漁港照明灯全数をLED化する。	脇之浦漁港の照明施設のLED化を行う。	3,000	3,500	500
14				釣り棧橋機能保全事業	脇田海釣り棧橋の施設の長寿命化を目的に、機能保全計画を策定し、保全工事を行う。	機能保全計画に基づき計画的に補修・改修を行う。	1,000	4,000	3,000
15				漁港維持管理事業(公共)	漁港施設、脇田海水浴場、多目的広場等の維持管理。	施設の老朽化に伴う補修工事を行う。	28,878	30,000	1,122
16				釣り棧橋維持管理事業(維持補修費)(公共)	脇田海釣り棧橋の維持補修。	—	654	763	109
17				フィッシャリーナ維持管理事業(公共)	脇田漁港フィッシャリーナの維持管理。	—	19,247	19,500	253
18				漁港維持管理事業(その他)	漁港施設、脇田海水浴場、多目的広場等の維持管理。	—	2,994	3,724	730
19				釣り棧橋維持管理事業(維持補修費)(その他)	脇田海釣り棧橋の維持補修。	—	30	30	0
20				フィッシャリーナ維持管理事業(その他)	脇田漁港フィッシャリーナの維持管理。	—	575	407	-168
21				水産物供給基盤整備事業(単独)	国の補助が適用できない水産基盤の整備のうち、必要不可欠なものを市単独で整備する。	漁港施設の維持保全を行う。	8,850	9,000	150
22	○			水産物供給基盤整備事業(補助)	漁業活動の効率化や防災機能の強化を図るため、国の補助による水産基盤の整備を行う。	漁港の航路・泊地施設の機能保全を図るため浚渫工事、調査・設計を行い、漁業活動の円滑化に取り組む。	163,000	185,000	22,000
23				繰出金(漁業集落排水)	漁業集落排水特別会計への一般会計繰出金。	—	31,953	30,840	-1,113
24				漁業集落排水管理運営事業	漁業集落排水処理施設の維持管理。	島民の生活基盤を維持するため、施設の老朽化に伴う補修工事を行う。	19,141	17,960	-1,181
25				水洗便所改造助成貸付事業	汲み取り便所を水洗便所に改造する際に、助成や貸付を行う。	—	420	420	0
26				繰出金(公債償還)	漁業集落排水処理施設の整備にかかる公債償還。	—	17,239	17,220	-19
27				予備費	漁業集落排水特別会計の予備費。	—	1,000	1,000	0



令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 鳥獣被害対策課		重点項目	鳥獣被害対策に関する危機管理体制の確立						
	課長名	森元 義男		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	19,436 千円	目安の金額	課長	1
令和2年度当初予算額(B)			17,946 千円			29,000 千円	係長		1	人
				増減額(A-B)	1,490 千円				職員	1

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			有害野生鳥獣被害対策事業	イノシシ・サルなどの野生鳥獣による市街地や農作物被害に対応するため、わなや銃による捕獲や追払いのほか市民相談や現地対応、市民啓発等を実施する。	被害対策の効果が認められた対策を継続していく。	11,393	11,200	-193
2				農作物等鳥獣被害防除対策事業	農作物へのイノシシや野鳥などの野生鳥獣対策を行う。	被害対策の効果が認められた対策を継続していく。	5,133	5,133	0
3				『森と畑を守る』シカ対策事業	新たに有害野生鳥獣対策が必要となるシカの被害防止対策を行う。	シカ捕獲体制をつくる。	1,144	827	-317
4				有害鳥獣対策車両リース事業	鳥獣被害対策課専用車両の導入。	鳥獣被害対策専用車両をリースで導入する。	276	276	0
5		○		<新> サル被害防止啓発事業	市街地への出没が急増するサルによる被害を防ぐため、看板、チラシを作成し、注意喚起を行う。	新たにハナレザル対策として、サルに遭遇した時の注意喚起など啓発を行う。		2,000	2,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 総合農事センター		重点項目	ビジネス化の推進、情報発信と連携促進					
	課長名	柳川 尚孝		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	88,271 千円	人件費	目安の金額
令和2年度当初予算額(B)			83,845 千円			69,000 千円	係長		2 人
				増減額(A-B)	4,426 千円				職員

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○	○		<新>SDGs(持続可能な)農業支援事業	農事センターの施設を利用して、環境負荷低減に向けた試験研究に取り組む。	環境負荷の低い生分解性プラスチック資材導入試験や竹パウダーを活用した土壌改良試験を実施。		2,000	2,000
2	○			総合農事センター管理運営事務(指定管理)	民間事業者の発想を取り入れた創意工夫によって利用者へのサービスを向上させ、集客増加を図るとともに、管理運営に係る経費削減や施設管理を円滑かつ効率・効果的に進めるため、公園区域について指定管理者制度を導入した。	指定管理者による情報発信、にぎわいづくり事業の実施等、利用者サービスの向上に努める。	40,095	39,306	-789
3	○			総合農事センター管理運営事務(その他)	公園区域について指定管理者制度を導入し、試験研究区域については引き続き、都市型農業の振興を図るため農業の新技术の導入などの農業に関する課題解決を行う。併せて、市民に農業を紹介し、市民の学習や理解に寄与する施設として、当センターの管理・運営を行う。	新たな農業の担い手づくりのための研修や、農業者・事業者からの要望に基づく試験栽培等を引き続き実施。	15,717	15,408	-309
4	○			総合農事センター管理運営事務(公共)	公共施設の適正な維持・保全のため、施設の修繕および定期点検等を行う。	利用者の安全性・快適性向上に向けた、施設の維持修繕を実施。	3,140	3,140	0
5				総合農事センター施設整備事業	経年劣化により安全性や機能が低下している箇所について、来園者の安全と施設の機能維持のため施設の改修や補修を行う。	来園者の安全性確保のため、計画的な改修・補修に取り組む。	2,000	5,400	3,400
6				畜産公害防止施設設置事業	家畜飼育に伴って生じる水質汚染、悪臭、衛生害虫等の発生を防止するために必要な施設、機械等の設置に対して助成する。	畜産農家支援だけでなく近隣住民の生活環境を保全するという目標に資するため、前年と同額を確保した。	650	650	0
7				畜産経営融資関連事業(貸付金・利子補給)	市内畜産農家に畜産公害防止に必要な資金を融資するとともに、資金借受者に対して利子補給を行い、経営の安定と振興を図る。小倉牛生産農家に素牛導入資金を融資して、小倉牛の生産振興を図る。	新規に融資希望者が出たことと、既存の融資対象者の融資額削減が見込まれたことから額の増減はあったが、農家の経営に資するため事業を継続して実施する。また、一般財源からは、利率が減少したことから利子補給額を見直した。一般財源▲7千円	6,316	6,380	64
8				健康で元気な「卵にわとり」づくり事業	市内養鶏農家が実施する鶏伝染病等の発生予防のワクチン接種及び衛生管理に必要な経費の一部を助成する。また、本市のブランド鶏である「小倉ふる里どり」を展示しながら生産し、生産者支援を行いながら、市民へのブランド浸透を図る。	養鶏衛生管理等補助額を見直した(▲19千円)が、ヒナの販売予定額が減少したことから、一般財源は増加した。一般財源△281千円	1,079	1,060	-19
9				家畜診療防疫事業	市内畜産農家で飼育されている家畜の疾病の予防、治療並びに衛生管理の指導等を実施することにより、畜産経営の安定と振興を図る。	事業は継続して実施するが、近年の診療状況を鑑み動物用医薬品購入費を削減した▲156千円	1,694	1,538	-156
10				畜産振興事業	総合農事センターにおいて家畜を研究飼育しながら来園者に展示し、市民への畜産業の知識普及を図るとともに、畜産農家の農業所得の増加、経営の安定化を目指す。	市内繁殖牛を増やす取り組みが順調に進捗していることから、市内繁殖農家産子牛の購入頭数が増えたが、旅費等の削減に取り組み、一般財源は減少している。一般財源▲847千円	13,154	13,389	235

令和3年度 課の事業一覧

組織名	産業経済局 中央卸売市場		重点項目 ・卸売業者が市場内敷地で卸売市場機能を併せ持ったストックポイント(SP)施設の整備を行うことに対し、補助を行う。これに伴い、青果棟レイアウト案の再構築を行う。 ・市場の安全を確保するための大規模・緊急工事や、緊急性の高い施設改修・更新工事を実施する。 ・「市民感謝デー」の開催等を通じた市場の認知度向上、市場機能の理解促進、「食」の大切さの啓発及び魚食普及など、卸売市場の取扱高増加に向けた施策を推進することにより、さらなる活性化を図る。							
	課長名	秋山 英雄		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	880,200 千円	人件費	目安の金額	課長 1 人
						令和2年度当初予算額(B)	771,100 千円		126,500 千円	係長 4 人
						増減額(A-B)	109,100 千円			職員 10 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				卸売市場再整備事業	施設老朽化や品質管理高度化に対応するため、長期的な視点のもと、市場施設の建替えや長寿命化等の市場再整備を行う。	九州・関東間の青果物物流を中継するため、卸売業者が市場内敷地で、卸売市場機能を併せ持ったストックポイント(SP)施設の整備を行うことに対し、農水省の補助金(間接補助)を活用する。 また、SP施設の整備に伴い、青果棟レイアウト案の再構築を行う。	524	52,749	52,225
2				市場施設大規模緊急改良	市場機能の向上に向けた施設整備及び施設の老朽化に伴う改修等(大規模かつ緊急的なもの)。	施設の老朽化に伴い、市場機能の維持や安全対策のための工事を行う。 令和3年度は、大規模緊急改良では、水産棟周辺の舗装や側溝の補修工事のほか冷蔵庫棟の貯水庫冷凍機の更新を行う。	105,800	42,000	-63,800
3				市場設備一般改良(市単)	施設の老朽化に伴う整備(一般工事・点検)。	一般改良では、日明特高設備関連工事、耐用年数を経過した高圧受電設備更新工事及び、法律で定められた使用期限を迎える電力量計の更新工事を行う。	2,700	99,500	96,800
4				公設地方卸売市場「市民感謝デー」支援事業	公設地方卸売市場(水産物部)で開催される「市民感謝デー」を、開設者として支援する。	市場活性化、魚食普及を目的とし、こどもやその親をターゲットに体験できるイベントを実施する。	2,200	2,200	0
5				北九州市こども料理王選手権	北九州市卸売市場協会が開催する「こども料理王選手権」の開設者負担金。	北九州市の特産物や旬の食材をテーマとし、こどもの食への関心を高め、生鮮食料品の消費拡大を図る。	1,500	1,500	0
6				卸売市場流通振興事業	集荷対策の強化。食育の推進、人材育成等を目的とする北九州市卸売市場協会「市場みらい塾」への補助金。	全国の優良出荷団体からの継続的な出荷確保を図るため、卸売業者とも連携し、集荷対策を実施する。また市場の強みを生かした食育に関する料理教室等を実施し、魚食普及や生鮮食料品の消費拡大及び中央卸売市場の役割等のPRIに努める。	800	800	0
7				市場管理費	市場運営に関する管理費。	—	25,500	24,200	-1,300
8				施設維持管理費	施設の維持管理費、光熱水費及び保安警備・庁舎管理・電気機械設備保守等に係る委託料など。	—	375,297	431,624	56,327
9				職員費(市場)	市場事業の職員費。	—	169,065	155,477	-13,588
10				繰出金	公債償還特別会計への繰出金(市場施設大規模緊急改良に伴い起債した市債の償還金)。	—	85,714	68,150	-17,564
11				予備費	予備費。	—	2,000	2,000	0